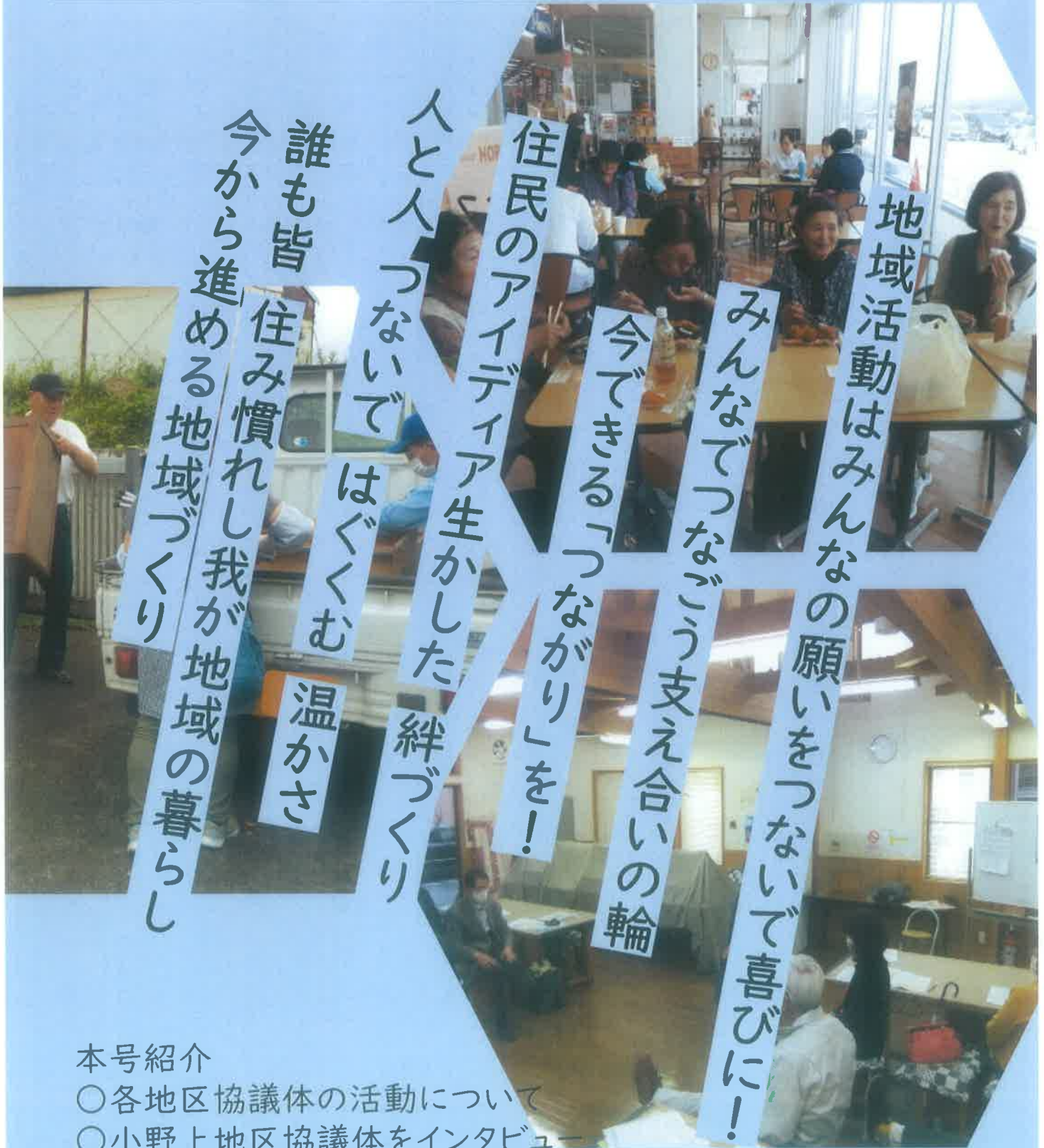


生活支援コーディネーター通信 No. 4

～つながろう 支え合おう 福祉のまちづくり～

編集/茨川市社会福祉協議会(☎25-0500) 発行/2022.7.1



地域活動はみんなの願いをつないで喜びに！

みんなであつなごう支え合いの輪

今できる「つながり」を！

住民のアイデア生かした絆づくり

人と人つないではぐくむ温かさ

誰も皆住み慣れし我が地域の暮らし

今から進める地域づくり

本号紹介

- 各地区協議体の活動について
- 小野上地区協議体をインタビュー

渋川えがおの会



宮嶋会長



森田SC

構成員:19名
開催回数:15回

渋川地区では、地域における見守り活動について協議しており、その一環として**認知症サポーター養成講座**を受講しました。今後はコロナ禍における各地域の状況について情報共有を行いながら、「**認知症**」と「**見守り**」をテーマに具体的な活動を**検討**していきます。

金島たすけあい 「なごみの会」



萩原代表



野村SC

構成員:18名
開催回数:16回

金島地区では、粗大ゴミ支援などの身近な困りごとについて検討し、支援制度ができてからは自治会単位で「構成員と自治会・地域役員と意見交換を行いました。その後、今一番重要なことは何かを話し合い、まずは構成員の**健康増進**も兼ねた「**地域の課題を見つけるためのウォーキング**」を実施します。夏以降は地域で活動する団体と活動内容を共有し、協議体としてできることを検討していきます。

古巻地区地域 助け合い協議体



内堀代表



諸田SC

構成員:12名
開催回数:17回

古巻地区では、**ゴミ出し支援**について協議をすすめ、**自治会**との**意見交換会**を実施しました。今後はゴミ出しに関する調査や協議と平行し、高齢者の関心事の一つである**介護保険制度**について**研修会**を実施する予定です。

豊秋助け合い協議体



関上代表



高橋SC

構成員:18名
開催回数:21回

豊秋地区では、これまで**自治会単位を中心**とした「**粗大ゴミ出し支援**」の実施について進めたところ概ね軌道に乗ったことから、今後は市の**認知症サポーター養成講座**を受講し「**認知症**」について**理解を深めた**うえで、「**見守り**」を中心に話し合いを進めていく予定です。

伊香保もみじの会



齋藤会長



初川SC

構成員:22名
開催回数:19回

伊香保もみじの会では、ふれあいいきいきサロンや介護予防活動促進事業における体操の集まりなどと並行する、気軽に立ち寄れる**居場所づくり**を**検討**しています。コロナ禍でも、人とのつながりを大切に考えながら情報共有を図っています。また、坂道の多い伊香保ですが、タウンバスなどの利用できる社会資源の活用にも着目し、「伊香保もみじの会通信」で発信しています。

小野上つくしんぼの会



小野会長



綿貫SC

構成員:17名
開催回数:49回

小野上地区では、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、「地域の困った」を私の困ったことと考え、困りごとの解決方法について検討しています。今まで検討した生活支援サービス(**買い物付き添い支援・ける便・粗大ゴミ搬出支援・通院送迎サービス**)を第3層協議体のつくしんぼお助けたいと協力して**実施**しています。

こもち結っこの会



須田代表



木村SC

構成員:7名
開催回数:46回

子持地区では、“笑顔であいさつ助けあい”をスローガンに会議を毎月開催しています。会議も気付けば44回となり、メンバー同士の情報交換や子持地区の住民活動などの話し合いはもちろんです。が、**フレイル予防の勉強会やチラシづくりを実施**してきました。「こもち結っこの会」の“結(えい)っこ”ですが、お互いに助け合うことを意味しており、古くから使われていたそうです。子持地区の地域のむすびつきや人々がお互いに助け合い、きずなで結ばれ続けられるよう、これからも活動をしていきます。

赤城絆の会



荒井会長



小林SC

構成員:22名
開催回数:35回

赤城地区では、住民を対象としたアンケートの結果を基に協議を重ね**「見守り」をテーマ**に進めています。自治会の広報配付時(毎月1日・15日)に配付物を手渡しする時や、声かけをしても留守で郵便物や新聞がたまっている、洗濯物が干したままなどの**異変を感じた時**に、地域の**自治会**長や赤城地域**包括支援センターに報告**するという内容で活動を進めていますが、現在、地域の実情やコロナ禍を考慮したうえで活動内容の見直しについて協議しています。また、今後は見守り活動の周知についても検討していきます。

たちばな支援の会



望月会長



吉田SC

構成員:20名
開催回数:36回

北橋地区では、「粗大ゴミ」をメインテーマに話し合いを重ね、令和2年度より自力で粗大ゴミの搬出ができない高齢者等を対象に**粗大ゴミの収集支援活動**に取り組んでおります。令和3年度は活動ボランティア団体が4団体となり、延べ利用者44名、約150点の収集支援が行われました。

今後は、「高齢者の居場所づくり」についても情報共有を行いながら、具体的な活動を検討していきます。

おのがみ助け合いの会 「つくしんぼ」へインタビュー



小野 實 氏
(つくしんぼの会会長)



綿貫 通啓 SC
(小野上地区担当SC)



つくしんぼが、おのがみ助け合いの会として活動し、約4年近く経ちますが支援の特徴や今後の課題などについて教えていただけますか？

小野上では4つの支援をおこなっております。協議体のメンバーの他に協力してくれる方「おのがみお助けたい」があるのも特徴ですね。運営は、自主的な参加を呼びかけているので、協力者の増強も課題となっています。ただ、当面の課題は、活動のための財源が確保されていないことです



通院送迎サービス



粗大ごみ搬出支援



買い物付き添い支援



けーる便



現在、財源確保のために何か工夫されていることなどはありますか？

地区社協のイベントに併せてバザー等を開催し、少しずつ貯金しています。こんななか、うれしいことに、地域の団体から寄付金をいただきました。



小野上地区ふれあいの集いでバザーの様子



地域の皆さんから多くの協力をいただいているんですね。インタビューにご協力いただきありがとうございました。